

九州

がんプロフェッショナル 養成プラン

産業医科大学の取り組み



- 大学院生募集案内
- インテンシブコース受講生募集案内



九州がんプロフェッショナル養成プランとは

がんは日本人の死因の1位で、近い将来には3人に2人が罹患し2人に1人が亡くなると推定されている。このように、がんは克服すべき課題であり、がん対策のより一層の推進を図るため、1. **がん予防**・2. **早期発見の推進**・3. **がん医療の均てん化**・4. **がん研究の推進**を特徴とする「がん対策基本法」が平成19年4月に施行され、この基本法に則り「がん対策推進基本計画」が策定された（図1）。

「基本法」、「基本計画」の有効な実施に向け、現在、厚生労働省による「がん診療連携拠点病院」および「文部科学省によるがんプロフェッショナル養成プラン」の整備が進められている（図2）。

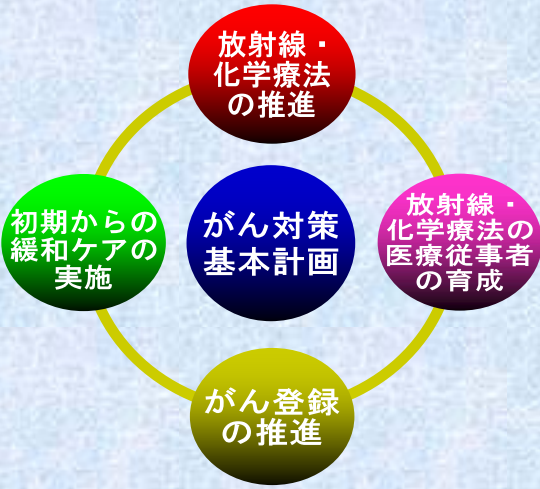


図1 背景となるがん対策推進基本計画

「九州がんプロフェッショナル養成プラン」は、「がんプロフェッショナル養成プラン」の一つとして文部科学省に採択されたプログラムであり、九州を一つの医療圏として、九州13大学及び地域のがん拠点病院等の連携により九州がんプロフェッショナル養成協議会を構築し、がん医療に関する専門的な知識および技能を有する医師およびその他の医療従事者を養成することで、九州における質の高いがん医療の均てん化を図ることを目的とする。

本プログラムの修了者は、この医療ネットワークを通じて九州各地へ配置され、地域のがん医療の担い手として、さらに、次のがん医療の担い手を育成する指導者として活躍することとなる。

組織体制の概要:

各大学の医学研究科等の長がプログラム責任者となり、各大学病院に設置された院内がんセンター等と協力して教育・臨床研究を指導し、各地域のがん診療連携拠点病院・緩和ケア専門病院と連携を行う。九州がんプロフェッショナル養成協議会はプログラム全体の円滑な運営を図り、本プラン修了者の社会的活動・就職を援助するために、学生の要望と地域のニーズを鑑みて、九州全域のがん医療均てん化のための人材の適正な配置について協議する。



図2 がん対策基本法からがんプロへ

連携 13 大学の九州がんプロフェッショナル養成プランに設置されたコース:

1. 臨床腫瘍医養成のための博士課程コース
2. 放射線腫瘍医養成のための博士課程コース
3. ペインクリニック認定医養成（腫瘍疼痛制御学）のための博士課程コース
4. がん専門薬剤師養成のための博士課程コース
5. がん専門薬剤師養成のための修士課程コース
6. がん専門看護師養成のための博士課程コース
7. がん専門看護師養成コース：修士課程
8. 医学物理士及び放射線治療品質管理士養成コース：修士課程
9. がん専門臨床検査技師（細胞検査士）養成コース：修士課程
10. 臨床腫瘍医養成のためのインテンシブコース：科目等履修生等
11. がん治療医インテンシブコース：科目等履修生等
12. 放射線腫瘍医インテンシブコース：科目等履修生等
13. 緩和ケア医インテンシブコース：科目等履修生等
14. 腫瘍疼痛管理学インテンシブコース：科目等履修生等
15. がん専門薬剤師養成のためのインテンシブコース：科目等履修生等
16. がん治療看護師養成のためのインテンシブコース：科目等履修生等



産業医科大学における取り組み

本学は九州がんプロフェッショナル養成プランとして、下記の博士課程 2 コース、科目等履修生 3 インテンシブコースを開設し、がんの臨床・研究のバランスのとれた専門医の育成に努める。

博士課程コース

1. 臨床腫瘍医養成のためのコース(大学院博士課程)
2. 放射線腫瘍医養成のためのコース(大学院博士課程)

インテンシブコース

1. 臨床腫瘍医養成のためのインテンシブコース：科目等履修生
2. がん治療医インテンシブコース：科目等履修生
3. 緩和ケア医インテンシブコース：科目等履修生

募集人数

大学院博士課程：若干名

科目等履修生：若干名

(注) 科目等履修生は、医師として勤務しつつ定められた教育科目を履修する。

原則として前期(4月)から履修開始とするが、1年間の科目履修を条件として後期(10月)からの履修開始も可能とする。

お問い合わせ：産業医科大学 教務第1課 TEL：093-691-7207

大学院博士課程（臨床腫瘍医・放射線腫瘍医養成コース）

大学院博士課程のコースでは、博士課程の4年間でがんの臨床と研究の教育指導を合わせて行い、必要な研究指導を受けたうえで論文審査及び最終試験に合格し学位を取得するとともに、放射線治療・がん化学療法・緩和ケアに精通したがん専門医師（下記）の養成を目指す。

- ・がん薬物療法専門医
- ・放射線腫瘍専門医
- ・がん治療認定医

○「臨床腫瘍医養成コース」

大学院の4専攻系（生体適応系、環境・産業生態系、障害機構系、生体情報系）のうち1つに所属し、2年間で系・部門共通必修科目12単位を修得し、コースの定める科目24単位、計36単位以上を修得する。さらに2年間、希望する臓器別診療科を3臓器・領域より選択して研修し、実際の症例を経験する。

○「放射線腫瘍医養成コース」

大学院の4専攻系（生体適応系、環境・産業生態系、障害機構系、生体情報系）のうち1つに所属し、2年間で系・部門共通必修科目12単位を修得し、コースの定める科目24単位、計36単位以上を修得する。さらに2年間、放射線科での研修を必須とする。これに加え希望する1つ以上の領域の診療科での研修を推奨し実際の症例を経験する。

科目等履修生（がん専門医養成インテンシブコース）

科目等履修生として、下記の3コースを設置する。コースの定める科目24単位を履修し臨床実習を行い、単位を取得する。修了時にはインテンシブコース修了証を授与する。

○「臨床腫瘍医養成インテンシブコース」

がん診療に特化した高度先進的知識やブラッシュアップにより、がん薬物療法に精通した臨床腫瘍医の養成を目指す。1年間にコースの定める科目24単位を履修することによりがん治療の原則を学んだ上で、希望する臓器別診療科を3臓器・領域より選択し研修を行う。

○「がん治療医養成インテンシブコース」

がん診療に特化した基本的技術および高度先進的知識と技術の修得やブラッシュアップにより、がん治療医の養成を目指す。1年間にコースの定める科目24単位を履修することによりがん治療の原則を学んだ上で、希望する1つ以上の領域のがん専門の診療科での研修を行う。

○「緩和ケア医養成インテンシブコース」

がん緩和ケアの専門医を目指し将来的に整備される専門医の取得を目指す。1年間にコースの定める科目24単位を履修することによりがん治療の原則を学んだ上で、希望する1つ以上のがん専門の診療科および緩和ケア専門病院で研修し実際の症例を経験する。

※ 各がんの「臓器・領域」とは、「造血器、呼吸器、消化器、肝・胆・膵、乳房、婦人科、泌尿器、頭頸部、骨軟部、皮膚、中枢神経、胚細胞、小児、原発不明」とする。

授業科目の概要

がんの分子生物学、がんの免疫学、がんの病因・疫学・スクリーニング・予防、がんの診断・管理治療の基本原則、がんの治療の基本原則（腫瘍外科学・腫瘍内科学）、緩和ケアの基本概念と実践、放射線腫瘍学、各種がんの治療、がんの生命倫理・法的経済的問題・心理社会的側面



UNIVERSITY OF OCCUPATIONAL AND ENVIRONMENTAL HEALTH, JAPAN

大学院医学研究科

GRADUATE SCHOOL OF MEDICAL SCIENCE

■産業医科大学

〒807-8555 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1 TEL 093-603-1611 (代表)

URL : <http://www.uoeh-u.ac.jp/JP/index.html>

お問い合わせ先：産業医科大学 教務第1課 TEL 093-691-7207